



今年は1～2月にかけてインフルエンザが流行し、1年・4年・6年が学級閉鎖、教職員も5名が罹患してご心配ご迷惑をおかけしました。皆様のご家庭はいかがでしょう？まだ寒い日が続きますので、保護者・地域の皆様もどうぞご自愛ください。幸いインフルエンザは峠を越え、学校はこれから学年末に向けてラストスパートです

雲南市特別支援学級「卒業おめでとうの会」が盛大に開催

雲南市内の小・中学校特別支援学級に在籍する児童生徒による「卒業おめでとうの会」が、チェリヴァホール3階大会議室で盛大に開催されました。

今年卒業を迎える小・中学生は全部で20名でした。在校生が東部・中部・西部ブロックごとに出し物をし、一人一人にお祝いの言葉とプレゼントを贈り、卒業生も各自が思い出や感謝の言葉を述べました。各校の先生方や保護者の皆様が大勢いたにも関わらず、みんな堂々と自分の言葉で表現していて、とても立派な態度で感心しました。

また、途中、市教委の有志による飛び入りの楽しいカニダンスがあり、アンコールでは子ども達も一緒になって楽しそうに踊っていました。会場全体が思いやりと一体感に包まれた、とても素敵な会でした。本校から参加した4名の児童も緊張感や達成感を味わうことができ、貴重な体験になったことでしょう。



自然の素材を生かして森の工作を作ったよ

2年生は足野隆二さん、橋本博さん、細木芳光さん、小田川清さん、松本光さんを講師にお招きして、森の工作に挑戦しました。

木の実や枝、綿などの自然素材を生かした作品は、どれも創造性豊かで温もりが感じられ、制作した子ども達自身がとても満足した様子でした。



わらや木でできた昔の道具に興味津々

3年生は加本孝之さんを講師に迎えて、昔の生活用品や農具について学習しました。

ひと昔前の道具ですが、目的に応じて様々な工夫が施されており、興味深く耳を傾けていました。また実際に触ったり持ったりさせてもらい、手触りや重さを体感していました。



体験を通じて福祉の大切さを学ぶ

3年生は市社会福祉協議会の協力で、車椅子体験を行い、体の不自由な人の立場から福祉について学びました。



実際に車椅子に乗って移動しようとする、少しの段差がとても大きな障害に感じられ、改めて福祉への心遣いの大切さに気付いたようです。

4月から同級生になる町内6年生が交流

木次中学校区4小学校の6年生が一堂に会し、自己紹介やゲームを通じて交流を深めました。

4月から、同級生として同じ校舎で学ぶ子ども達です。今のうちに一人でも多くの友達を作り、安心して入学してくれることを願って、毎年この時期に実施しています。



どれも美味しそうなお弁当がずらり

本校は、食べ物を大切にする、感謝の気持ちを持つ、簡単な料理ができる、家族のふれあいを深める等をめざして、年3回お弁当の日を実施しています。

給食も好評ですが、弁当の方が人気は高いようです。色とりどりの美味しそうなお弁当を見ると、子ども達は目を輝かせて笑顔になります。



なかよし班でフリースローに挑戦

体育委員会主催で、縦割り班対抗フリースロー大会がありました。バスケットボールは低学年にとってはやや重くて悪戦苦闘していましたが、チームの声援を受けて、みんな一生懸命リングめがけてシュートしていました。

委員会のちょっとした工夫で絆が深まりました。



教職員・保護者・児童による学校評価の結果 … 概ね達成できた と まだ努力が必要

今年も教職員、児童、保護者による学校評価の結果が集計できました。数字は「十分達成している」と「どちらかという達成している」の、肯定的な回答が全体に占める割合で示しています。

【教職員による自己評価】

学校経営における重点項目ごとに具体的な取組指標を定めて自己評価を行いました。ほとんどの項目で概ね達成出来た(90%以上)とする意見が多かったものの「保護者と連携・協力して望ましい生活習慣の定着と向上をめざす」(50.0%)、「読書指導を継続して行い、豊かな想像力や感性を磨く」(78.6%)は改善の余地があることがわかりました。

【保護者による評価】

評価項目のほとんどが90%以上の肯定的な評価でしたが、唯一「子どもさんは、家庭で読書に親しんでいると思いますか」(52.1%)が低い評価でした。この項目は、昨年度も(48.6%)と低く、何か改善策を考えていく必要があると感じます。



また、記述による貴重な意見も多数いただき、ありがとうございました。これらの意見も参考にしながら学校の様々な取組を見直し、次年度の学校経営や教育活動に生かしていきたいと思えます。

【児童による評価】

学校生活や学習意欲では「学校へ行くことが楽しい」(88.1%)、「友達に会うのは楽しい」(97.6%)、「授業はわかりやすい」(90.5%)が良い結果でした。勉強が好きかという質問には、理科・生活・音楽・図工・体育・外国語・総合が80%を越えたものの、国語・社会は70%に満たない結果でした。「進んであいさつをしている」(92.9%)は良かったものの「毎日家で読書をしている」(51.6%)は残念な結果でした。

小学校入学や中学校進学に向けた活動がいよいよ本格化

小学校では一日入学、中学校では入学説明会やガイダンス等、次の学校へのスムーズな移行をめざす取組が本格的に始まりました。初めてのお子様の場合は、不安や疑問もあろうかと思えます。どうぞ遠慮なくお尋ねください。また、斐伊の子は斐伊の皆で育てていくという温かい地域ですので、保護者同士の縦や横の繋がりを大事にして、安心して学校にお任せください。



島根県スポーツ功労者として表彰

全国大会で優勝とは、まさに斐伊小学校の誇りです

【優勝】1年 吾郷煌介(第33回全国少年少女レスリング選手権大会小学生の部1年生20kg級)

ライオンズクラブ国際平和ポスターコンテスト

世界中の人が笑顔の素敵な作品です

【優秀賞】6年 北川綾乃

島根県版画展 こつつ制作に取り組んだ成果が実を結びました

今年は2年と5年のみ出品しました

【優秀賞】5年 伊藤真稀, 佐藤彪大, 曾田陸都, 多根名月葵, 錦織胡海
錦織涼雅, 矢田貝南菜, 藤原有希

【優良賞】2年 安部きりあ, 糸川優人, 内田和奏, 大坂悠人, 亀山真弓, 西村悠斗, 山根冬聖
5年 宇田川詩真, 田中悠歩, 廣野勇也, 藤原琴葉, 細木和華, 伊藤誠斗

【佳作】紙面の都合で割愛します

3月の行事予定

- 1日(水) 6年生を送る会
- 6日(月) ストーリーテリング
ホルン鑑賞会
- 8日(水) ストーリーテリング
- 13日(月) 地区児童会
- 16日(木) 卒業式予行練習
- 18日(土) 卒業証書授与式
- 21日(火) 振替休業日
- 23日(水) 給食終了
- 24日(木) 修了式, 離任式

今月のひとり言・・・

今年十数年ぶりにインフルエンザに罹り、学校を4日も休んでしまいました。ある日の夕方「校長先生、目が少し充血していますよ」と言われ、自分でも熱っぽく感じたので、早速病院で診てもらいました。すると、綿棒を鼻の奥へ入れられ、検査薬で調べて1分も経たないうちに「A型です」と宣告されました。
なんと簡単に分かるものだと感じしていたら、インフルエンザウィルスの治療は、口から2種類の薬をその場で吸引して終了。あとは普通の風邪薬を飲んで、症状が回復するのを待つだけでした。
医薬品の進歩に驚きと感動を隠せない一方、なかなか症状が改善しない自分の体力の衰えに少々ショックを感じながら、健康の利がたさをしみじみと感じた一週間でした。